

藤原ナチュラルヒストリー振興財団

神戸シンポジウム

ナチュラル ヒストリー

〈これまでの貢献と今後への期待〉

2016・10・22 (土)

場所

兵庫県民会館 [けんみんホール]

主催◎公益財団法人 藤原ナチュラルヒストリー振興財団

共催◎兵庫県立人と自然の博物館 / 兵庫県立大学自然・環境科学研究所

後援◎自然史学会連合 / 日本分類学会連合 / (公社)日本動物学会 / (公社)日本植物学会 / (一社)日本地質学会 / (一社)日本生態学会 / 関西自然保護機構 / 日本古生物学会 / 兵庫県教育委員会

ナチュラルヒストリー

～これまでの貢献と今後への期待～

趣旨

科学の細分化が極端な今日、あらためて、ナチュラルヒストリーの果たす役割は重要と考えます。この領域で現在何が進んでいるか、将来に向けて何が求められるか、具体的な事実にもとづいた議論をたたかわせることが期待されます。

日時

2016年10月22日(土) 13:30 → 17:00

場所

兵庫県民会館

「けんみんホール」

〒650-0011 神戸市中央区下山手通り4-16-3

☎078-321-2131

URL: <http://hyogo-arts.or.jp/arts/kai.htm>



交通のご案内

- JR・阪神「元町駅」より徒歩7分
- 地下鉄「県庁前駅」東1・2出入口
- バス停「県民会館前」下車すぐ

プログラム

はじめの挨拶

13:30 → (公財) 藤原ナチュラルヒストリー振興財団 理事長 下河邊和彦

第1部

13:45 → 15:05 [基調講演]

◎池田忠広・太田英利(人と自然の博物館/兵庫県立大学)

篠山層群の化石群: 恐竜とともに生きたカエル・トカゲ—滅びたものたち、生き残ったものたち

◎高橋 晃・高野温子(人と自然の博物館/兵庫県立大学)

兵庫県の植物相研究: 播磨の絶滅危惧種オチフジの秘められた生活史

第2部

15:15 → 16:50 [パネルディスカッション]

◎コーディネーター: 太田英利

◎パネリスト: 岡本 卓(京都大学)

角野康郎(神戸大学)

光明義文(東京大学出版会、財団評議員)

西方敬人(甲南大学)

閉会の挨拶

16:55 人と自然の博物館館長 中瀬 勤

参加申込・お問い合わせ

氏名・所属機関名を記載のうえ、
メールかFAXでお申し込み下さい。
申込受付後、財団より受付番号を返信いたします。

メール naturalsympo@gmail.com

FAX 03-6452-4556

公益財団法人 藤原ナチュラルヒストリー振興財団
東京都目黒区上目黒1-26-1 中目黒アトラスタワー 313
HP: <http://fujiwara-nh.or.jp/>

- 申込開始: 2016年7月15日
- 締切: 定員に達した時点で締め切ります。

参加費

無料

主催: 公益財団法人 藤原ナチュラルヒストリー振興財団

共催: 兵庫県立人と自然の博物館/兵庫県立大学自然・環境科学研究所

後援: 自然史学会連合/日本分類学会連合/(公社)日本動物学会/
(公社)日本植物学会/(一社)日本地質学会/(一社)日本生態学会/
関西自然保護機構/日本古生物学会/兵庫県教育委員会